

「三重県アールブリュット 2023」からのおかえりなさい展

かな
あざやかに奏でる
ねいろ
音色たち～

展示
期間

2023年

9月

15日
金

16日
土

17日
日

18日
月祝

開場
時間

9月15日(金) 13時～17時

16日(土) 9時～17時(最終入場16時30分)

17日(日) 9時～17時(最終入場16時30分)

18日(月・祝) 9時～15時

入場料
無料

会場

文化の森・YURI 文化情報交流館

ハートピア春江 1階 展示交流ホール

〒919-0474 福井県坂井市春江町西太郎丸15-22

☎ 0776-51-8800

主催/福井県障がい者芸術文化活動支援センター・ふくみなと、福井県
協力/東海北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター

問い合わせ先： 福井県障がい者芸術文化活動支援センター

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2 ハスの実の家内

☎ 0776-78-6743 ☎ 0776-78-6744

E-mail:center-fukui@hyougen.org

<https://hyougen.org/> <https://www.facebook.com/fukuigeibunsupport>



【出展作家】 伊藤 耀 JUNKO TSUJI 野沢 功 mkART Kaito

作家・作品紹介



マハラジャの羊 (JUNColor)

現在は、春と夏に数カ所で個展を毎年開催。また企業や店舗とのコラボで商品パッケージデザインなどを描く。

JUNKO TSUJI

カラフルなデザイン絵画をJUNColor(ジュンカラー)と付けています。和風絵画は、順彩(じゅんさい)。

2019年より画家の活動を始める。それまでは仕事や子育て中心の生活。40歳でアスペルガー(現スペクトラム)の診断を受け、そこから自分らしく生きようとする。落書きから生まれた独自の表現で絵を描くようになる。



エッグ飛来～Egg Hirai～

mkART (マッキヤート)

双極性障害のため、生きづらさを常に感じています。若い頃は本当に辛く、40を過ぎてから穏やかになってきたように思います。絵の中に、自由や奇想天外、陰陽を描くのが、楽しみのひとつであります。



最強の二人

2021年) 岩本宇司氏、岩本朋子氏(創作工房伽藍)に師事。ブログ「絵とおはなしのくに」を運営するほか、絵本・童話の創作Online「新作の嵐」(中村文人氏主宰)でも多数公開中。

伊藤 耀

Hikaru Itou

福井市在住。
高校生くらいからうさぎの「うさ」とその仲間たちを中心に、お話の世界を創り続けてきました。身体的なハンディがあり、しばしば大変な思いをする私にとって、うさとその仲間たちはそばにいて、いつも励まし、なぐさめてくれる存在です。

アールブリュット展ふくいに第4回、5回、6回連続入賞(2019～



無題

2010年、養護学校の児童生徒や卒業生対象に立ち上げた任意団体です。学校で素敵な作画や造形をしていた児童生徒が卒業後は全く描いていない、作っていないと言う状況や、卒業後、通所以外は引きこもり、どこにも行かない方がおられることを知り、余暇活動の一環として、居場所的な場所になればと思って立ち上げました。スタッフは特別支援学校の元教員や美術の大学を出た方などにボランティアとして来ていただいています。毎月第3日曜日に県の社会福祉センターで活動しています。

※あとえ風(ふう)

2010年、養護学校の児童生徒

や卒業生対象に立ち上げた任意団体です。学校で素敵な作画や造形をしていた児童生徒が卒業後は全く描いていない、作っていないと言う状況や、卒業後、通所以外は引きこもり、どこにも行かない方がおられることを知り、余暇活動の一環として、居場所的な場所になればと思って立ち上げました。スタッフは特別支援学校の元教員や美術の大学を出た方などにボランティアとして来ていただいています。毎月第3日曜日に県の社会福祉センターで活動しています。



SABA

Kaito

坂井市在住。
現在20歳。筋ジストロフィーを患い日中は電動車椅子で生活。週2回事業所に通い、空いた時間にアート活動とユニバーサルスポーツをしている。身体の都合で一度に1時間しか座ることができず、午前と午後1時間ずつ一日合計2時間を目標に作品を描いている。作品の題材は主に自分が描きたい動物などを描いている。今まで福井県内で合同展・個展合わせて9回行って、今秋も福井県内で個展、来年初夏に石川県で初の県外個展も開催予定で随時新作を描いている。